

資料 2

(様式 1)

平成 24 年 2 月 21 日

長久手市教育委員会御中

申請者

住所 〒470-0134 日進市香久山 3-301-1

ライフウェルズ香久山 3-404

団体 学校体育研究同志会

代表者 大会実行委員長 (愛知県立大学教育福祉学部教授・
キャリア支援室長) 丸山真司

連絡先電話番号

(勤務先、愛知県立大学)0561-64-1111(内線 1613)

後援・推薦名義の使用について(依頼)

下記のとおり行事を開催しますので、後援・推薦名義使用を承認してください。

記

| | |
|------------------|---|
| 行 事 名 | 第 144 回学校体育研究同志会全国研究大会 |
| 行事の目的 | 本研究大会では、身体・運動や健康に関わる“子どもの発達の危機”の解決方策を探り、文化(運動遊び、スポーツ、舞踊、武道など)や命・健康についての学びが子どもの「生きる力」につながるような体育授業や健康教育をどのように創っていくべきかについて、各教材別の実技講習や実践交流を通して学び合う。そして、参加者の実践指導力の向上を目指している。 |
| 主 催 | 学校体育研究同志会 (東京都新宿区西新宿 8-2-34 新宿マンション 502) |
| その他の後援・ 推薦依頼先 | 後援：愛知県教育委員会 共催：愛知県立大学 |
| 開催の期日 | 平成 24 年 8 月 4 日 (土) ~ 平成 24 年 8 月 6 日 (月) |
| 開催の場所 | 愛知県立大学長久手キャンパス (長久手市字茨ヶ廻間 1522-3) 愛知淑徳大学長久手キャンパス (長久手市長湫片平 9) |
| 入 場 料 | 参加費として、1 日:2000 円、2 日:7000 円、3 日:9000 円(但し院生・学生は半額)。参加費は「大会提案集」、大会物品、運営費等に充てられる。 |
| 対象者 | 全国の体育・スポーツ関係者(保育士、幼稚園・小学校・中学校・高校の教諭、体育研究者、大学院生・学生、地域・子どもスポーツ関係者等) 600~700名規模 |
| 前回の開催日 | 平成 23 年 8 月 6 日~8 日、和光中学・高校(東京都町田市教育委員会後援)で開催。 |
| 内 容 | 開閉会行事の他、以下の分科会の実践研究活動(実技含む)が3日間に渡って行われる。<分科会> ①障害児、②幼年、③小学校低学年、④小学校中学年、⑤小学校高学年、⑥中学校、⑦高校、⑧バスケット(戦術/戦略)、⑨フラッグフットボール(戦術/戦略)、⑩サッカー(戦術/戦略)、⑪器械運動(表現)、⑫舞踊表現(ダンス)、⑬舞踊表現(民舞)、⑭陸上(記録/競争)、⑮水泳(水辺文化)、⑯健康教育、⑰体育理論、⑱子どもスポーツと社会、⑲グループ学習 |

* 新規申請の場合は、会員・会員名簿・予算書・沿革等を添付すること

* 学生の発友会は、学校の発行するクラブ証明書を添付すること





長久手市教育委員会の後援、推薦審査基準

(第144回学校体育研究同志会全国研究大会)

| 審 査 項 目 | | 判断 (事務局。該当に○印) | |
|---|--|-----------------------|---|
| | | 適 | 否 |
| 催 し 物 の 内 容 | 目的が明確なものか | <input type="radio"/> | |
| | 時代の進歩に応じているものか | <input type="radio"/> | |
| | 生活、経験、興味に即しているものか | <input type="radio"/> | |
| | 教養を高め文化の向上に資するものか | <input type="radio"/> | |
| | 豊かな情操を養うものであるか | <input type="radio"/> | |
| 催 し 物 の 目 的 そ の 他 | 営利を目的としていないか | <input type="radio"/> | |
| | 有料である場合、料金が情勢に即しているか | <input type="radio"/> | |
| | 風紀上好ましくないものでないか | <input type="radio"/> | |
| | 商業的又は政治的な宣伝を意図するものでないか | <input type="radio"/> | |
| | 社会的悪影響を及ぼすおそれのないものであるか | <input type="radio"/> | |
| | 他の団体の後援又は推薦があるか。特に映画、スライド及び紙芝居の催し物については、「文部科学省選定」又は「文部科学省特別選定」作品であるか | <input type="radio"/> | |
| | その規模が広範囲にわたり、一般市民を対象とするもので、一地区に限られていないか | <input type="radio"/> | |
| | 有料で後援申請をする場合、国又は地方公共団体の主催又は後援のものであること及び公共的団体が主催するものであること | <input type="radio"/> | |
| 申請時において、料金や催し物の内容が明確になっているか (予定、未定となっていないか) | <input type="radio"/> | | |
| 主 催 者 に つ い て | 特定の政治団体に関するものでないか | <input type="radio"/> | |
| | 特定の宗教団体に関するものでないか | <input type="radio"/> | |
| | 存在及び組織が明確で、事務遂行能力が十分であると判断できること | <input type="radio"/> | |

H24. 2. 23

確認済
若田 修



第144回学校体育研究同志会全国研究大会

2012ながくて大会 要項案

文化の学びを生きる力に

—すべての子どもたちに豊かな運動文化を—

今日、子どもの身体能力の低下や、積極的に運動する子どもとそうでない子どもの二極化が進行し、とりわけ幼稚園・小学校期から始まる身体・運動や健康に関わる“子どもの発達の危機”は、緊急に解決していかなければならない学校体育の重要課題となっている。学校現場ではこのような子どもの発達の危機に対して多くの教師が指導上の問題や課題を抱え苦勞をしている。

また、2011年3月11日、未曾有の大地震が東北地方を襲った。「ながくて大会」の合言葉は、“Always together with you”。ともにつながる。本研究大会では、東北の学校・体育の復興と日本の体育の創造を視野に入れ、身体・運動や健康に関わる“子どもの発達の危機”の解決策を探り、文化（運動遊び、スポーツ、舞踊、武道など）や命・健康についての学びが子どもの「生きる力」につながるような体育授業・健康教育をどのように創っていくべきかについて、全国の教師と学び合い交流したい。

大会期日・日程

期日：2012年8月4日（土）～6日（月）

| 時間 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|---------|--------------------|----|----|-----------------------------|-----------------------------|----|---------------------|-------|----|-------------------------------|----|----|----|
| 8月4日(土) | 全国総会 | | | 12:00 ～13:00 受付 | 13:00～14:45 開会行事 基調報告 | 移動 | 15:00～17:00 分科会① | 移動・休憩 | | 19:00～ 分科会交流の夕べ (夕食を含む) | | | |
| 8月5日(日) | 9:00～12:30 分科会② | | | 12:30 ～13:30 昼食 | 13:30～17:00 分科会③ | | | 移動・休憩 | | 19:00～21:00 文化交流の夕べ | | | |
| 8月6日(月) | 9:00～11:30 分科会④ | | 移動 | 11:50～13:30 記念講演 閉会行事 | | | | | | | | | |

会場

- 全体会場：愛知県立大学長久手キャンパス（開会・閉会行事）
（愛知県愛知郡長久手町大字熊張字茨ヶ廻間 1522 番 3）
- 実技会場：愛知県立大学長久手キャンパス
愛知淑徳大学長久手キャンパス（愛知県愛知郡長久手町長湫片平 9）

分科会

- ①障害児、②幼年、③小学校低学年、④小学校中学年、⑤小学校高学年、⑥中学校、⑦高校、⑧バスケット（戦術/戦略）、⑨フラッグフットボール（戦術/戦略）、⑩サッカー（戦術/戦略）、⑪器械運動（表現）、⑫舞踊表現（ダンス）、⑬舞踊表現（民舞）、⑭陸上（記録/競争）、⑮水泳（水辺文化）、⑯健康教育、⑰体育理論、⑱子どもスポーツと社会、⑲グループ学習

主催・主管

- 主催：学校体育研究同志会
- 主管：ながくて大会実行委員会

共催：愛知県立大学

2011年2月12日

第144 学校体育研究同志会全国大会 (ながくて大会) 予算書(案)

〔収入〕

| | | ながくて予算(500) | | 備考 | |
|--------|-----------|-------------|-----|---------|------------|
| | | 参加費 | 人数 | 金額 | |
| 3日参加 | | 9000 | 250 | 2250000 | *500人で見積もり |
| 同学生 | | 4500 | 60 | 270000 | |
| 2日参加 | | 7000 | 50 | 350000 | |
| 同学生 | | 3500 | 45 | 157500 | |
| 1日参加 | | 4000 | 50 | 200000 | |
| 同学生 | | 2000 | 45 | 90000 | |
| 講演(当日) | | 500 | 0 | 0 | |
| 小計 | | | 500 | 3317500 | |
| 事業費 | 広告料 | | | 50000 | |
| | 提案集 売り上げ | | | | |
| 小計 | | | | 50000 | |
| 雑収入 | 大会準備金(全国) | | | 100000 | |
| | 大会準備金(愛知) | | | 100000 | |
| 小計 | | | | 200000 | |
| 合計 | | | | 3567500 | |

〔支出〕

| | | 500 | | 備考 | |
|------------|------------|------------|-----|---------|---|
| 大項目 | 種別 コード | 小項目 | 人数 | 金額 | |
| 研究費 | 1 | 開閉会行事 | | 80000 | 講師料5万円, 会場設営・舞台技術 |
| | 2 | 提案集印刷 | | 420000 | 印刷代(700部) |
| | 3 | 提案集発送費 | | 40000 | 送料@80×500 |
| | 4 | 提案集編集連絡費 | | 5000 | 原稿依頼関係, 封筒 |
| | 5 | 提案集封筒 | | 13000 | |
| | 6 | 大会封筒 | | 15000 | |
| | 7 | 会場費 | | 10000 | |
| | 8 | 分科会関係 | | 20000 | 文房具, 駐車場 |
| 小計 | | | | 603000 | |
| 情宣・ 広報費 | 9 | 要項作成 | | 320000 | 作成(20000枚)・他にダイジェスト版作成 |
| | 10 | 要項発送 | | 70000 | 全国への発送, たのスポ折り込み |
| | 11 | 情宣ビラ・ポスター | | 20000 | 新聞折り込み, ビラ郵送料, 宅急便 |
| | 12 | 速報 | | 30000 | 用紙代, 文具, USB |
| | 13 | 速報印刷機, 消耗品 | | 10000 | インク, トナー代 |
| 小計 | | | | 450000 | |
| 生活関係費 | 14 | 文化交流のタベ | | 80000 | 舞台用看板, 雑費等 |
| | 15 | 大会後軽食(パン) | 300 | 90000 | |
| | 16 | 名前カード代 | 500 | 15000 | ラベルシール |
| | 17 | 消耗品 | | 10000 | 当日用名札関係 |
| 小計 | | | | 195000 | |
| 総務関係費 | 18 | 実行委員会会議費 | | 5000 | 会議会場費 |
| | 19 | 実行委員活動費 | | 200000 | 会議費, 弁当代, 実行委員サポートTシャツ代等 |
| | 20 | 人件費(アルバイト) | | 50000 | 保育・子ども学校指導員 |
| | 21 | 通信・事務・文具 | | 100000 | はがき, コピー用紙, 封筒など, パソコン, ソフト, プロバイダー契約, プリカイ |
| | 22 | 保険料 | 500 | 50000 | @100円/1日×泊数×参加人数 |
| | 23 | 看板 | | 20000 | 垂れ幕印刷, 模造紙, |
| | 24 | 記録 | | 10000 | カセットテープ, オーディオテープ, 電池など |
| | 25 | 子ども学校・保育補助 | | 80000 | 子ども学校, 保育 |
| | 26 | 講師・会外者宿泊代等 | | 20000 | 接待費保育関係交通費 |
| | 27 | 雑費 | | 150000 | 駐車場, バス代, 会場校お礼等 |
| | 28 | クローク関係費 | | 0 | |
| | 29 | 旅行会社手数料 | 500 | 200000 | @400円×参加者数 |
| | 30 | 実行委員会Tシャツ代 | 30 | 30000 | |
| | 31 | 研究部会議費 | | 100000 | |
| | 32 | 総務会議費 | | 100000 | |
| | 33 | 編集会議費 | | 100000 | |
| 小計 | | | | 1215000 | |
| 特別会計へ(立替分) | | | | 100000 | 大会準備金返済 |
| | 全国事業費(出版等) | | | 600000 | |
| 合計(経費分) | | | | 3163000 | |
| 特別会計へ | 予備費 | | | 404500 | |
| 総合計 | | | | 3567500 | |

長久手市教育委員会 様

拝啓

時下ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、私どもは現在、第 144 回学校体育研究同志会全国研究大会を愛知県立大学で開催するため準備を進めております。子どもの身体・運動・健康に関わる発達の危機は世界的な学校体育の課題でもあります。多くの学校現場でも体育教師がこの問題について悩み、そして努力されていることと思えます。愛知県内、県外から多くの体育教師に参加していただき、多くの教師に学校体育や健康教育に関わる実践力をつけてもらい学校現場で活かしていただきたいと願っています。県内外から多くの体育教師に参加していただくために、すでに愛知県教育委員会の後援をいただきました。さらに長久手市教育委員会の後援をいただければこの上なく幸いに存じます。

提出必要資料を同封いたしました。

どうぞご協力下さいますようお願いいたします。

敬具

平成 24 年 2 月 21 日

愛知県立大学 教育福祉学部

人間発達学研究科

愛知県立大学キャリア支援室長

丸山真司



第144回学校体育研究同志会全国研究大会(ながくて大会) 役員一覧表

| 役職 | 氏名(職) | 住所 | 電話番号 |
|--------------|-----------------------------------|----|------|
| 大会実行委員長 | 丸山真司 (愛知県立大学教授) | | |
| 研究局長 | 伊藤嘉人 (岐阜経済大学講師) | | |
| 事務局長 | 坂井ひづる (日進市立香久山小学校教諭) | | |
| 子ども局長 | 鬼頭明代 (元名古屋市小学校教諭) | | |
| 企画局長 | 後藤静 (愛知県立海翔高校教諭) | | |
| 大会アドバイザー(顧問) | 出原泰明 (愛知学泉大学教授/ 元名古屋大学教授) | | |
| 大会アドバイザー(顧問) | 成瀬徹 (NPO法人「体育とスポーツの 図書館」館長) | | |
| 研究アドバイザー | 吉田文久 (日本福祉大学教授) | | |

「学校体育研究同志会会則」

1968年8月改訂 1972年8月改訂
1974年8月改訂 1975年8月改訂
1979年8月改訂 1981年8月改訂
1987年8月改訂 1992年8月改訂
1999年8月改訂 2003年8月改訂

第一章 総則

第1条(名称)

本会は「学校体育研究同志会」(略称「体育同志会」)と称する。

第2条(事務所)

本会の事務所は、当分の間、
東京都新宿区西新宿 8-2-34 新宿マンション 502 におく。

第3条(目的)

本会は、学校体育、社会体育ならびに健康教育に関する諸問題を、科学的、実践的に研究することを目的とする。

第二章 事業

第4条(事業)

本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 年次大会、研究会、講演会の開催
2. 機関誌『たのしい体育・スポーツ』の刊行
3. 出版物の編集、刊行
4. 委員会の設置
5. 関係諸団体との連絡、協力、提携
6. その他必要と認める事項

第三章 会員および支部、ブロック

第5条(会員)

本会は、会則を認め、第3条の目的に賛同し、会費を納入した個人によって構成される。

第6条(支部)

会員は、都道府県を単位に組織された支部に所属する。ただし、支部の組織されていない県の会員は全国常任委員会の直属とする。

第7条(支部の承認)

支部は、別に定める基準に従って結成され、総会で承認される。

第8条(ブロック)

全国をいくつかの地域に分け、その地域内の支部及び会員によってブロックを構成する。ブロックにはブロック担当者をおく。ブロック担当者は、該当ブロックの全国委員の中から、互選によって選出する。

第四章 組織及び運営

第9条(役員)

本会の事業を運営するために次の役員をおく。

委員長 1名

全国委員 支部より1名と東京より若干名

全国常任委員 若干名

監事 2名

役員任期は2年とする。ただし再任を妨げない。

第10条(委員長)

委員長は常任委員会で互選され、本会を代表する。

第11条(全国委員)

全国委員は、次の区分から選出される。

支部 1名

東京支部 若干名

全国委員が全国常任委員に選出され、欠員が出た支部は、これを補充する。

第12条(全国常任委員)

全国常任委員は全国委員会で選出される。

第13条(監事)

監事は委員長が推薦し、総会によって承認され、委嘱する。

第14条(総会)

総会は別記細則により各支部から選出された代議員によって構成される。総会は毎年1回開かれ、会務の報告を受け、次の事項を審議、決定する。

1. 活動報告および活動方針
2. 事業計画
3. 決算および予算
4. 会則の改正

5. 支部の承認
6. 役員選出
7. その他必要と認める事項

第15条(全国委員会)

全国委員会は総会に次ぐ決議機関であり、毎年1回以上開き、必要事項を協議、決定する。

第16条(全国常任委員会)

全国常任委員会は、総会及び全国委員会の決定に基づき、本会の運営に必要な事項を企画、立案するとともに、その実務を処理する。

第17条(部局)

全国常任委員会の中に次の部局・委員会をおく。

事務局

研究局

出版経営局

機関誌編集委員会

また業務の必要に応じて部局及び委員会を設けることができる。

第五章 会計

第18条(経費)

本会の経費は、会費、事業収入、寄付金その他をもってあてる。その額は別に定める。

第19条(監査)

本会の収支決算は監事の監査を受け、全国委員会の議を経て、総会に報告、承認をうけるものとする。

第20条(会計年度)

本会の会計年度は8月1日より翌年の7月31日までとする。

付則 この会則は2003年8月より実施する。

支部に関する規定

1. 支部の設立

支部は原則として都道府県単位に設立される。

2. 支部の活動

(1) 支部は、毎年1回以上の総会を開き、活動の総括と活動の方針、および決算・予算、人事について決定し、常任委員会に報告する。

(2) 支部は全国委員を選出して、本会の活動報告および活動方針について意見を述べ、諸決定に参加する権利を有する。

(3) 支部は、毎月1回以上の研究会を実施し、定期的に「ニュース」を発行する。

(4) 支部は、本会の財政の許す範囲内において、支部研究会への講師派遣を要求できる。

開会行事

8月6日(土) 13:00~14:45

記念講演 「社会の実像から見た教育を考える」

～若手教員の質問に答えて～

氏岡真弓氏(朝日新聞社編集委員)

講師の氏岡真弓さんは、現在朝日新聞の編集委員として活躍されています。長年にわたって、子どもの荒れや学級崩壊、学力問題、教育の格差問題などを取材し、新聞紙上にありのままの姿を伝えてきています。次の世代にバトンを渡す営みのすべてを「教育」と呼び、人と人との関係をひらきつなげる試みに明日を信じたいと語っています。



氏岡さんのひとこと

「小中高校をはじめとする教育の場は、今の社会の実像がよく見え、次の社会の輪郭がかいまみえる地点だと思います。取材で見てきた子どもや学校の姿をお話ししながら、みなさまと教育のありようを考えていけたらと思います。」

基調提案「『つながり』にこめた東京からの発信」

大会基調提案作成委員会

2011年は、小学校で新学習指導要領全面実施の年であり、改めて私たちの「豊かな運動文化の創造をめざす体育同志会実践」を東京から発信していくことで、体育科教育に大きな影響を与えることができると考えています。これまで体育同志会を創り上げてきた多くの仲間と、これから体育同志会を知る若い仲間が集う首都東京の全国大会。私たちが、学び、つながり、未来を語りながら大会を一緒に創り上げていくことで、すべての子どもたちを大切にしたい体育同志会実践をより広く伝えていくことができます。一貫して平和と民主主義を大切にしてきた多くの民間教育研究団体の研究成果を全国に広げる新たな契機を生み出す大会にもしていきたいと考えています。

分科会

8月6日(土)～8月8日(月)

実践を実技で
確かめよう!

自分の実践
をつくりだ
そう!

分科会の流れ

分科会コマ①

8月6日(土)

15:00~17:00

会場 和光中学・高等学校

【内容】

分科会の基調提案の検討を行い、これまでの研究の成果を確認します。また、3日間の分科会の流れを確かめます。

始まりの大事な
コマ!
話が見えるよ!

分科会コマ②

会場 和光中学・高等学校他

8月7日(日) 9:00~12:15

分科会コマ③

会場 和光中学・高等学校他

8月7日(日) 13:15~17:00

【内容】

②③のいずれかで実技を行います。ここでは、実践提案を受け、学習の流れや集団のあり方、最新の研究から技術の系統について学びます。典型実践から学ぶことも行います。

分科会コマ④

8月8日(月)

9:00~12:00

会場 和光中学・高等学校

【内容】

提案された実践をもとに、より発展し改善された実践に向けての授業づくりや、新たな実践提案のためのワークショップをします。

これこそ体育同志会!
ここで感動する人多数!
仲間と文化でつながろう!

文化交流の夕べ

8月7日(日) 19:00~21:15 ホテル・ザ・エルシィ

全国大会恒例の文化交流の夕べ。今年はホテル・ザ・エルシィに全国の皆様をお迎えします。2日間のすばらしい分科会の絆と成果をおいしいお酒や料理とともに楽しく語り合ひましょう。分科会や支部からの楽しい出し物も大歓迎です。東京大会実行委員も全力で盛り上げます。

閉会行事

8月8日(月) 12:15~13:00 和光中学・高等学校

分科会一覧表

| 番号 | 分科会名 | 分科会内容紹介 | 教材・学年 | 実技 |
|----|---------------------------|--|------------------------------------|---------|
| 1 | 障害児体育 | 支援学校、支援学級に在籍する児童生徒が増加する中、子どもたち一人ひとりを大切にしたい指導が求められています。しかし、目に見える部分だけが評価され、子どもの内面の育ちがなかなか見えてこないのではないのでしょうか。本分科会では「子どものこころとからだを豊かにする」障害児体育の実践を創造し、「運動文化」を中核に、発達課題に応じて「わかる」、「できる」支援の方法を探ります。 | なわ・球技 (中学部) | 有 屋内 |
| 2 | 幼年体育 | 幼年分科会では、幼児期に身に付けるべき力を意識した発達段階に応じた運動あそびの系統的な指導のあり方を検討します。それは、単に〇〇ができることではなく、子どもたちがワクワクするような楽しい運動あそびを展開していく観点から検討していきます。それらのことを実技を通して楽しみながら交流し研究していきます。 | ボールを 使った 運動あそび (年長児) | 有 屋内 |
| 3A | 小学校 低・中学年体育 (ボール運動) | 小学校低・中学年のボール運動教材をもとに、子どもたちの生活課題・発達課題を探ります。何を教えるのかを検討します。また、高学年との学習内容の接続についても考えます。(フラッグフットは小6との比較) | ボールけり 遊び(小1) フラッグ フット(小3) | 有 屋内 |
| 3B | 小学校 低・中学年体育 (器械運動) | 1年生のマット運動と4年生の鉄棒運動の実践報告をもとに、小学校低・中学年における器械運動で教えたい中身・育てたい力を参加者の皆さんと一緒に考えていきます。その学年(クラス)だから教えたいことと低・中学年だからこそ学んでもらいたい内容との関係を、実技も体験しながら明らかにしていきます。 | マット運動 (小1) 鉄棒運動 (小4) | 有 屋内 |
| 4 | 小学校 高学年体育 | 高学年の子どもたちの生活実態・発達課題を交流します。技能差が激しくなる高学年で、どの子どもともうまくなり、楽しめるサッカーの授業をどうつくるかを検討しましょう。提案者は、学級の生活課題やグループ学習のあり方にも目を向けて提案します。 | サッカー (小6) | 有 屋外 |
| 5 | 中学校体育 | どの子どもも楽しく楽しめる授業にするために、何を学ばせるか、義務教育修了時に体育で身につけさせる共通基礎教養を展望して、生徒の実態に合わせた指導を検討します。バスケットとバレーの実践報告を基に研究します。実技は、野球教材を取り上げます。 | バスケット ボール (中2) | 有 屋内 |
| 6 | 高校体育 | Aクイックから学び始める3人のコンビネーション攻撃を柱としたバレーボールの授業を全国の3校で実践し、レポートを持ち寄って研究を進めます。実技も織り交ぜながら、技術指導の系統性やグループ学習のあり方についても討論を深め、生徒集団が相互に折り合いをつけ、運動文化を我がものとしてできる学習指導をめざします。 | バレー ボール (高2) (大学) | 有 屋内 |
| 7B | バスケット ボール 「戦略・戦術」 | みんなで考えたバスケットの作戦を試合で使ってみて、みんなで協力しながらグループ学習を進めていきます。そして、みんながうまくなり、みんなが楽しくなり、みんなで成長することをめざします。 | (中学校) (小学校 高学年) | 有 屋内 |
| 7F | フラッグフット ボール 「戦略・戦術」 | ボールゲームの戦術を学習する授業づくりを、フラッグフットボールを教材に行います。実技を通して、2人対2人のゲームで学ばせるべき基礎となる戦術的課題や運動技能を学び、さらに3人や4人のゲームへとつなげていく過程を丁寧に検証していきます。 | (小学校 高学年) | 有 屋内 |
| 7S | サッカー 「戦略・戦術」 | サッカー学習の入門としての「じゃまじゃまサッカー」は、中学、高校への発展を展望した時、どの段階まで指導できるか、高学年の実践報告と、そこで行われた実技指導を実際経験し、ゲーム展開が楽しめる授業づくりをめざします。 | (小学校 高学年) | 有 屋外 |

| | | | | |
|----|-------------------------------|---|--------------------------|--------------|
| 8 | 器械運動 「表現」 | 子ども自身が考えた通りの動きを表現できるように、身体操作を身につける「ねこちゃん体操」を考えてきました。「お話マット」や鉄棒の連続技づくり、空間表現を軸にした跳び箱等の授業づくりを積み重ねてきました。子どもたちの集団的取り組みを通して、系統的にうまくなる指導・研究を交流します。 | (小学校) | 有 屋内 |
| 9D | ダンス 「舞踊表現」 | 「からだのしくみと動きの成り立ち」を学びながら、子どもたちの内発的な動きを引き出す指導方法と、そこから即興的に生まれた動きを作品にしていく指導方法を研究しています。ダンスの苦手な人も指導できる方法や、ダンスだけでなく、日常生活やスポーツ場面でのあらゆる動きづくりの方法が満載です。 | (小学校) (中学校) (高校) | 有 屋内 |
| 9M | 民舞 「舞踊表現」 | 自然な体づかいによる無理、無駄のない動きで形づくられている民俗舞踊を学ぶことは、子どもたちのからだを耕すだけでなく、心を開く豊かさをもっています。今回は青森に伝わる「荒馬」を教材として取り上げ、授業や保育の中で、何をどのように伝えていけばよいか、子どもたちにつけたい力は何かを、実践報告、研究報告及び実技を通して明らかにしていきます。 | 「荒馬」 (小学校 低学年) | 有 屋内 |
| 10 | 陸上 「記録・競争」 | 「ピッチとストライドの支配によるリズムとスピードのコントロール」の基礎教材となるあてっこペース走をベースに、具体的実践から走運動全般（跳躍を含む）について実技を通して学習します。「競争から何を学ぶのか」から競争全般についても、長距離走（中3）の実践例から学習を進めます。 | (中3) | 有 屋外 |
| 11 | 水泳 「水辺文化」 | 新指導要領の中学年に「呼吸をしながらの基礎的な動き」が位置づけられました。体育同志会では基礎泳法として「ドル平泳法」を位置づけ、実践研究を積み重ねてきました。分科会では、「ドル平泳法から近代泳法へ」の学習の流れ、技術学習の系統性を実践報告と実技を通して学びます。さらに、「海や河川での水泳や日本泳法など」を学習内容とする多様な授業の可能性も探ります。 | (小6) | 有 プ ール |
| 12 | 健康教育の 授業づくり | からだや健康問題の学習をすすめる上では、背景にある社会問題に目を向け、現実の課題に向き合うことが欠かせません。身近な問題を題材にし、子どもたちの視線から創っていく授業のあり方や教材づくりの方法を学ぶこと、子ども・父母・地域の方・教職員との共同の授業づくりをどう進めるかなどを学び合います。 | 「すいみん（小3） 他」 | 無 |
| 13 | 体育理論の 授業づくり | 新学習指導要領にも時間配当が明確にされた体育理論。「教室でする体育」では何を題材（ネタ）にどんなことを教えるのか、最新の文化研究やスポーツ科学研究の成果に学びながら、授業の具体的なプランを検討します。 | (中学校) (高校) | 無 |
| 14 | 子ども・ スポーツ・ 社会と 学校づくり | 子どもをどう理解し、地域と学校の連携・融合をどのように進めるか考えます。子どもの権利条約に根ざした「学校づくり」、そして運動会や部活動等特別活動における児童・生徒の「自治能力の形成」について、全国の実践を持ち寄り、討議をしながら「子どもが主人公の学校づくり」の可能性に迫ります。 | (小学校) (中学校) | 無 |
| 15 | グループ学習 | 実践提案をもとに、子どもたちが抱える困難を読み解きながら、子どもたちとともに創り出していくグループ学習のあり方を、参加者全員で考えます。運動文化と人格形成に関する最新の研究成果に基づいて検討します。 | バスケットボール (小学校 高学年) | 無 |

授業づくり教室：上記の分科会の他に、実技を充実させた「授業づくり教室」もあります。

**16.水泳 17.陸上運動 18.小学校低中学年ボールゲーム 19.バスケットボール
20.フットボール 21. マット運動 22. 器械運動**

詳しくは次の
ページをご覧ください！

特別講座 8月6日(土) 17:15~19:00 和光中学・高等学校

ラッキー！！
他の教科も
学べちゃう！

* 民間教育研究団体との共同企画 *

軽食が出ます！

子ども達のゆたかな成長と生きた学力を大切にするには…さまざまな研究団体の実践と成果を学び合おう！

| | | | | | |
|---|----------|--|---|----------|--|
| A | 国語 | 表現が生まれる教室実践の創造 ～教師よ「夢追い人」たれ～ (日本作文の会 松下義一) | I | 音楽 | 生きる喜びを歌う。リズム表現をする。 (音楽教育の会 緒志久子) |
| B | 国語 | 文章を科学的に「読むこと」の指導 ポイントを紹介。(科学的「読み」の 授業研究会 高橋喜代治) | J | 技術 | 戻る紙ヒコーキを作って、飛ばそう。 (技術教育研究会 吉田喜一) |
| C | 国語 | 「読みの力」を育てる文学の授業づ くりのポイント解説。 (国語教育研究会 藤田伸一) | K | 家庭 | 「生きる」ために必須な「からだ」と 「暮らし」の学び。 (家庭科教育研究者連盟 鶴田敦子) |
| D | 算数 数学 | 最初の難関「くり上がり」「くり下 がり」について考える。10進位取り記 数法の意味やタイルの使い方を中心 に。(数学教育協議会 増島高敬) | L | 性教育 | 性の多様性や自己のセクシュアリティ について相談できる学校づくり。(“人 間と性”教育研究協議会 渡辺大輔) |
| E | 理科 | たのしくわかる理科授業の実験・ 観察のポイントと解説。 (科学教育研究協議会 松本徳重) | M | 英語 | 担任は「小学校英語活動」で何を教え ることができるか。 (新英語教育研究会 瀧口優) |
| F | 社会 | 社会科・歴史教育—歴史から学び 平和な社会を築く授業づくり。 (歴史教育者協議会 大野一夫) | N | 道徳 | あなたは、この問いにどう応える～「な ぜ、人を殺してはいけないか？」～ (和光大学 梅原利夫) |
| G | 社会 | 地震・津波と防災、そして原発を、 どう教えるか。 (地理教育研究会 相原正義) | O | 演劇 | 演劇教育始めの一步！生き生きとした 表現とコミュニケーションの楽しさを (日本演劇教育連盟 大垣花子) |
| H | 社会 | 子どもとつくる授業 ～小学校社会科&アニメーション (教育&社会科ゼミナール 田所恭介) | P | 進路 指導 | 「入試制度」から「入学制度」へ。全 国の実態を交流しながら考える。 (全国進路指導研究会 綿貫公平) |

実技が充実！授業づくり教室

実技はちょっと…という
方、見学だけでも大歓迎！

(敬称略)

「初めて参加するんだけど、どの分科会にすればいいかな…」 「体をめいっぱい動かして、実感しながら学びたい…」
そんなみなさんにピッタリなのが「授業づくり教室」です。3日間、実技を中心に学び合います。子どもになったつ
もりで体を動かすので、気持ちがよくわかります。また、みんながうまくなるための「技術指導の系統性」やみんな
でうまくなるための「グループ学習の方法」など、体育の授業づくりについて、わかりやすく学べますよ！

8月6日(土) 15:00~17:00 和光中学・高等学校
8月7日(日) 9:00~17:00 成蹊小学校
8月8日(月) 9:00~12:00 和光中学・高等学校

◎実技のできる服装、くつ、体育館履きを
持参してください。
◎水泳教室のみ、3日間とも「和光中学・高
等学校」で行います。
◎2日目から参加の方は、受け付けも成蹊小
学校で行います。

| 番号 | 授業づくり教室名 | 主な内容 |
|----|--------------------|--|
| 16 | 水泳 ※場所にご確認ください | 同志会の最大の研究成果の一つである『ドル平泳法』を知っていますか？実技を通し て「子どもたちにどう指導したらいいか」を学び、必ず泳げるようになります。 |
| 17 | 陸上運動 | 「田植え走」「段ボール走」知っていますか？短距離走、リレー、ハードル走、 走り幅跳びなどについて「つながり」を意識して学習していきます。 |
| 18 | 小学校低・中学年 ボールゲーム | 低学年「的当て・シュートボール」から中学年の「タッチボール」を中心に取り上げ ます。「ハンドボール・(タッチ)バスケ」へと系統立てた指導について考えます。 |
| 19 | バスケットボール | “二人のコンビネーションによるパス・シュート”から出発し、「みんなが、 みんなと、うまくなるバスケット」を目指します。 |
| 20 | フラッグフットボール | 指導要領に例示されたフラフトは作戦を学ぶのに最適！みんなに役割があり、ボール 運動の動き方がよくわかります。みんなでつながって、みんながタッチダウン！ |
| 21 | マット運動 | マット運動で子どもの笑顔をいっぱいにしてみたいと思いませんか？側転・連続技・ 集団マットの授業づくりのコツを一緒に考えましょう。先生も笑顔になりますよ！ |
| 22 | 器械運動 (跳び箱・鉄棒) | ねこちゃん体操で体幹操作の感覚づくりをしたら、マット、跳び箱、鉄棒運動 の技のポイントをさぐってみましょう。 |

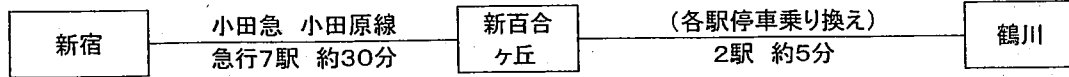
和光中学・高等学校へのアクセス【小田急小田原線「鶴川駅」よりバス】

* 鶴川駅よりバス。「鶴川団地」または「和光学園前」下車（バスで約10分乗車 バス運賃190円）

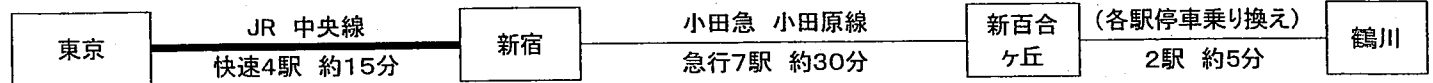
(1) 新横浜より和光中学・高等学校まで、約60分（乗車36分、乗り換えなど約24分 電車運賃440円）



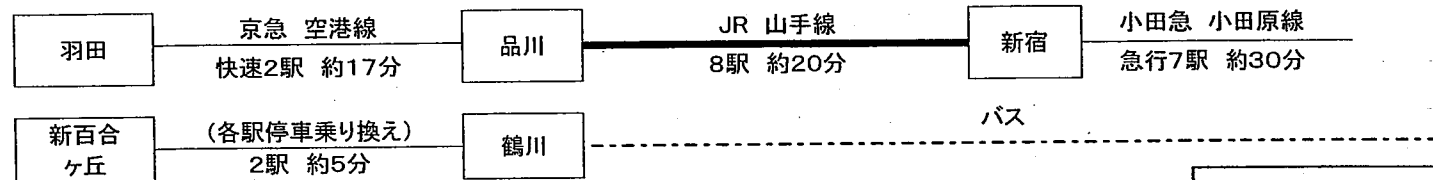
(2) 新宿より和光中学・高等学校まで、約60分（乗車45分、乗り換えなど約15分 電車運賃330円）



(3) 東京より和光中学・高等学校まで、約1時間15分（乗車60分、乗り換えなど約15分 電車運賃520円）



(4) 羽田より和光中学・高等学校まで京急利用、約1時間40分（乗車82分、乗り換えなど約18分 電車運賃920円）

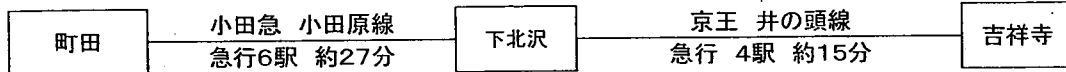


鶴川駅北口
東口バス乗り場②
鶴11系統、
鶴12系統に乗車。
「鶴川団地」(終点)
下車が近いです。本
数も多い。「和光学
園前」でも大丈夫
です。

成蹊学園へのアクセス

* JR 中央線、京王井の頭線「吉祥寺」よりバス「成蹊学園前」下車（バスで約15分乗車 バス運賃210円）

* 町田駅より成蹊学園まで、約1時間5分（乗車55分、乗り換えなど約10分 電車運賃440円）



吉祥寺駅中央口
(北口) 又は東口
バス乗り場①②
から乗車。
どの系統でも、
「成蹊学園前」で
下車。

●子ども学校

【よく学び・よく遊び・よく働く】

青梅市御岳周辺の自然の豊かさに触れた体験学習から、
集団の協調と友情を深め、楽しく豊かな共同生活をつくる
プログラムを組みました。

○場 所： 東京都青梅市 JR御岳駅周辺

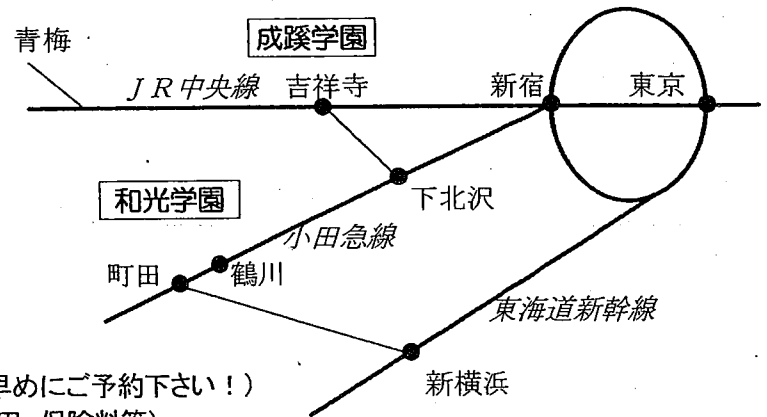
○宿 舎： 「駅前山小屋 A-YARD」

[電話]0428-74-9453

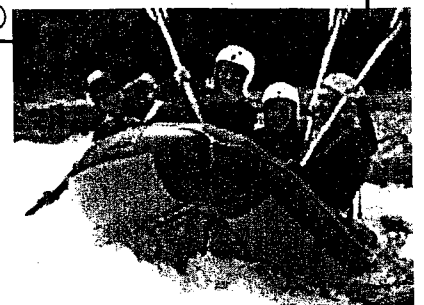
○対 象： 小学校1年生～大学生

○定 員： 先着40名まで(人気のある施設のため、お早めにご予約下さい!)

○費 用： 19,900円(宿泊費、交通費、食事、体験費用、保険料等)



| 日 程 | 午前 | 午後 | 夜 |
|--------|--------------------|-------------|--------------------|
| 8/6(土) | | 受付 | 青梅市御岳まで移動 飯盒炊さん |
| 8/7(日) | ケーブルカーで御岳山頂へ(自然探索) | 大型ボートによる川下り | ナイト・ウォーク |
| 8/8(月) | 子ども学校報告準備 | 電車で移動 | 閉会行事(子ども学校報告) |



◆保 育

◇場 所： 和光鶴川幼稚園(和光中学・高等学校近所)

◇対 象： 幼児(3歳～小学校1年生) ※おむつが取れている幼児

◇定 員： 8名(先着順)

◇費 用： 6日・8日 3000円 7日 5000円 (おやつ・保険料・昼食など)

参加申し込み要領

◆参加形態および参加費

- ① 参加形態 : 1日・2日間・3日間とありますが、分科会は3日間ともありますので3日間の参加をお奨めします。
- ② 3日間 9,000円(学生4,500円) 2日間 7,000円(学生3,500円) 1日 4,000円(学生2,000円)
※参加費には提案集の費用を含みます
※開会行事の氏岡氏の記念講演のみの参加の場合は、申し込みの必要はありません。当日500円をいただきます。
- ③ 文化交流の夕べ(8月7日) ホテル・ザ・エルシィ町田:6,000円 ※宿泊参加者・通い参加者とも申し込みが必要です。
- ④ 弁当 : 8月7日 飲み物付き(費用:1000円) 必要な方は申し込みをして下さい。(申し込みされることお勧めします)
- ⑤ 特別講座:参加される方は、必ず申し込みをして下さい。(軽食あり)
- ⑥ 7月15日までに申し込まれた方は、傷害保険に加入しています。

◆子ども学校【よく学び・よく遊び・よく働く】

*7月15日の申し込み締め切り後、持ち物、集合時刻・場所等についての連絡やしおりの発送を実行委員会よりさせていただきます。

◆保育

*7月15日の申し込み締め切り後、持ち物、幼児の受け渡し時刻・場所等についての連絡を実行委員会よりさせていただきます。

◆宿泊のご案内 ※部屋数に限りがありますので、先着順となります。ご希望にそえない場合は連絡をさせていただきます。

| 宿泊地 | ホテル名 | 部屋タイプ | 宿泊料金 (お1人様/1泊あたり) | 朝食 |
|-----------------|----------|-------|----------------------|-------|
| JR町田駅徒歩5分 | 町田ヴィラ | シングル | 8,500円 | 1泊朝食付 |
| | | ツイン | 8,000円 | |
| JR町田駅南口 徒歩3分 | ラ・ポール千寿閣 | シングル | 8,800円 | 1泊朝食付 |
| | | ツイン | 8,300円 | |
| | | トリプル | 8,300円 | |
| JR町田駅徒歩1分 | ザ・エルシィ町田 | シングル | 9,800円 | 1泊朝食付 |
| | | ツイン | 9,300円 | |
| JR町田駅徒歩4分 | リソル町田 | シングル | 7,800円 | 1泊朝食付 |

*前泊(8/5)・後泊(8/9)の設定も用意しております。(宿泊料金は上記と同額です。)

◆申し込みの方法

- ①申し込み書に必要事項を記入の上、申し込み書を切り取りFAXまたは郵送にて、下記デスクへご送付ください。
(電話・メールでのお申し込みはお受けできませんのであらかじめご了承ください)
- ②デスクより「請求書」を送付しますので、内容を確認いただき1週間以内に指定口座にお振込みください。
(振込手数料は申し込み者負担となります。あらかじめご了承ください。)
- ③ご入金確認後、デスクより「提案集」を送付します。
(なお、提案集は締切日までに申し込みをされた方に送付します。締切日以降の申し込み者には大会受付でのお渡しとなります。)

申し込み先 および 申し込みについてのお問い合わせ先

『学校体育研究同志会デスク』担当/勝見、安達

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル7階 (株)JTBビジネスネットワーク内

電話 03-5949-1348 FAX 03-5396-8140

営業時間:平日(月~金)9時30分~17時00分 ※土日祝は休業

*大会についての問い合わせは、東京大会実行委員会までお願いします。(080-4431-8858 大会実行委員会)

◆申し込み締切 7月15日(金) (申し込み開始は5月17日です。)

◆予約の変更・取消

- * 予約の変更・取消をされる場合は、お早めに書面(FAX)にてご連絡ください。お電話でのお申し出はお受けできませんのであらかじめご了承ください。営業時間外のお申し出の場合は、翌日などの営業日時間内での受付処理となります。ご注意ください。
- * 返金先の口座(銀行名・支店名・口座番号・名義人)も必ずご明記下さい。取消・変更によるご返金は大会終了後になる場合もございます。
(振込手数料は申し込み者負担となりますがあらかじめご了承ください。)
- * 大会参加費は大会提案集代金と申し込みや郵送やキャンセルにかかる事務経費3000円を差し引いて残金を返金いたします。
- * 子ども学校・保育・文化交流の夕べ・弁当は8月4日までは全額返金・8月5日は半額返金となります。8月6日以降はご返金できません。
- * 宿泊の取消料は宿泊日の前日から起算して20~8日前は20%、7~2日前は30%、前日は40%、当日は50%の割合で発生します。
(いずれも営業時間内のお申し出に限ります。営業時間外は翌日扱いとなります。ご注意下さい。)

↑上記には記入しないでください

FAX番号 03-5396-8140

下記に必要事項を記入のうえFAX送信してください。 *欄は必ずご記入ください
 (郵送の場合は「〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14ダイハツ・ニッセイ池袋ビル7階 JTBビジネスネットワーク」まで)

| | | | | | | |
|------|---|--------------------------------|-----|--------|-----|-----------|
| *氏名 | ふりがな | *年齢 | *性別 | 男 女 | *種別 | 会員 非会員 |
| *所属 | (職場名、大学名、など) 特支・保・幼・小・中・高・大・学生・他(←○を付けて下さい) | | | | | *都道府県 |
| *連絡先 | 自宅TEL 携帯TEL E-mail | *送付先住所(申し込み確定後に提案集を郵送します) 〒 | | | | |

| *大会参加日(↓○をして下さい) | 参加費 | 学生参加費 | *分科会・授業づくり教室 (参加する番号を一つご記入ください) | 金額 |
|------------------|-----------|-----------|------------------------------------|----|
| 8月6日 | 3日間 9000円 | 3日間 4500円 | | 円 |
| 8月7日 | 2日間 7000円 | 2日間 3500円 | | |
| 8月8日 | 1日間 4000円 | 1日間 2000円 | | |

※大会参加費には提案集代金、分科会参加費を含みます

| | |
|------------------|---------|
| 特別講座(いずれか選択ください) | 特別講座 記号 |
| (参加 ・ 不参加) | |

| 懇親会/弁当 | *いずれか選択ください | 費用 | 金額 |
|--------------------------|-------------|-------|----|
| 文化交流の夕べ(8月7日) | 参加 不参加 | 6000円 | 円 |
| 弁当(8月7日) *分科会場へお届けします | 必要 不要 | 1000円 | 円 |

*大会参加者は6日、7日宿泊です。前泊5日、後泊8日

| 宿泊希望ホテル | 部屋タイプ | 料金(1泊あたり) | *宿泊日(○を付けてください) | | | | 小計金額 |
|------------|-------|-----------|-----------------|------|------|------|------------------------------------|
| ① 町田ヴィラ | シングル | 8500円 | 8月5日 | 8月6日 | 8月7日 | 8月8日 | ※ご希望されたホテル以外になる可能性があります。何卒ご了承ください。 |
| | ツイン | 8000円 | 8月5日 | 8月6日 | 8月7日 | 8月8日 | |
| ② ラ・ポール千寿閣 | シングル | 8800円 | 8月5日 | 8月6日 | 8月7日 | 8月8日 | |
| | ツイン | 8300円 | 8月5日 | 8月6日 | 8月7日 | 8月8日 | |
| | トリプル | 8300円 | 8月5日 | 8月6日 | 8月7日 | 8月8日 | |
| ③ ザエルシィ町田 | シングル | 9800円 | 8月5日 | 8月6日 | 8月7日 | 8月8日 | |
| | ツイン | 9300円 | 8月5日 | 8月6日 | 8月7日 | 8月8日 | |
| ④ リソル町田 | シングル | 7800円 | 8月5日 | 8月6日 | 8月7日 | 8月8日 | |

※ツイン、トリプルご希望の場合は同室希望者氏名をご記入ください

| 子ども学校/保育 | 幼児・児童氏名 | 年齢 | 性別 | 学校 | 学年 | 希望日 | 金額 |
|---------------------------------------|---------|----|----|---------|----|-------------|----|
| ■子ども学校申し込み 一人19900円 | | | | 小 中 高 大 | | / | 円 |
| ■保育申し込み 8/6,8日 3000円 8/7日 5000円 | | | | / | / | 8/6 8/7 8/8 | 円 |

| | | |
|--|--------------------------|------|
| 【申込に関するお問い合わせ先】 | 【大会に関するお問い合わせ】 | 合計金額 |
| JTBビジネスネットワーク 電話 03-5949-1348 学校体育研究同志会デスク FAX 03-5396-8140 | 080-4431-8858 大会実行委員会 | 円 |

*大会参加者が2名以上の場合は、恐れ入りますが申し込み用紙をコピーして別々に申し込んでください。
 *宿泊、お弁当もできるだけ本申し込み書を利用することをお勧めします。